



2000年08月06日

“New Beetle Rsi” 日本導入を正式に検討開始
Import planning of Volkswagen “New Beetle Rsi” starts.

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 (略称:VGJ、代表取締役社長:ピータ ノッカー)は、1999年のデトロイト モーターショー、そして今年3月のジュネーヴ モーターショーに参考出品された、“ニュービートル”のホットバージョン “New Beetle RSi” の日本導入の検討を開始しました。

このスーパー ニュービートルは、世界限定生産250台という希少なモデルで、2.8リッター V6エンジンをスーパアップした、3.2リッター 4バルブ、最高出力225ps、最大トルク317Nmを絞り出すパワフルなエンジンが搭載されています。外観はレーシーな架装が施され、通常より80mmワイドに張り出した4つのオーバー フェンダーと、エア インテークが大きく口を開けたフロント スポイラー、リアには強烈的な排気を送り出すシルバーに輝くデュアル エクゾースト パイプと、それを包み込むリア スポイラ および、巨大なリア ウィングとルーフ スポイラーが装着され、圧倒的なインパクトで仕上げられています。

さらにインテリアはスポーティーなイメージで統一され、シルバーに輝くペダル類やクイックシフト ノブ、さらにはインパネ周りの造形にも大胆に、従来からある円のモチーフにあわせてアルミニウムが多用されています。またシートはレーシング タイプのバケット シートを装着するなど、内外装共にレーシング マインドを掻き立てる演出が随所に施されています。

メカニカルな部分においてもフォルクスワーゲンの最新技術が投入されています。V6から炸裂するパワーは、6速マニュアル ギアボックスを介して、ハルデックス社製のカップリングを用いたフォーモーション システム (4輪駆動システム)に伝達され、9J×18インチのOZ社製大型アルミホイールと組み合わせられた235/40 ZR 18インチのワイドタイヤを経て、このマシンをわずか6.4秒で100km/hまで引っ張り、最高速度を140mphにまで到達させます。このパフォーマンスを支えるサスペンションは、フロントにアンチロールバー付きマクファーソン ストラット、リアには安全装備としてESP(エレクトリック スタビリティ プログラム)を搭載、アンチロールバー付きダブル ウィッシュボーンが採用されています。

フォルクスワーゲン ジャパンでは、このスーパー ニュービートル“New Beetle RSi”の世界限定販売台数250台のうち、50台を日本市場向けとして確保すべく検討に入りました。導入の時期、価格、仕様などについては現在のところ未定となっています。

New Beetle RSi 基本スペック (2000年3月 ジュネーヴ モーターショー プレス リリースより抜粋)

項目	データ
エンジン	V6ガソリンV型直列6気筒4バルブ ヘッド
総排気量	3,200cc
最高出力	165kw (225bhp) / 6,200rpm
最大トルク	317Nm / 3,200rpm
0-100km加速性能	6.4秒
最高速度	140mph
駆動方式	6速マニュアル ギアボックス + フォーモーション(4輪駆動)システム
サスペンション(前)	アンチロールバー付きマクマーソンストラット

サスペンション(後)	アンチロールバー付きダブル ウィッシュボーン
ブレーキ(前/後)	ベンチレーテッド ディスク + ABS + EBD(電子ブレーキ圧分配装置)
タイヤ/ホイール	235/40 ZR 18

注) 生産型車両及び日本向けの車両スペックは、現在未定。上記スペックが変更される事もあります